

### 警報器を地区で共同購入してみませんか？

警報器を地区で共同購入することで、さまざまなメリットが考えられます。現在、共同購入を検討されていたり、もうすでに購入された地区もあります。

#### 共同購入のメリット

- ①購入の手間が軽減できます。
- ②高齢者世帯への取り付けなど、ご近所同士で協力できます。
- ③万一火災が起きたとき、近所のかたが気付きやすくなります。
- ④交換が同時期になり、忘れにくくなります。
- ⑤悪質な販売業者の被害防止になります。



住宅用火災警報器。ドライバー1本で簡単に取り付けられます

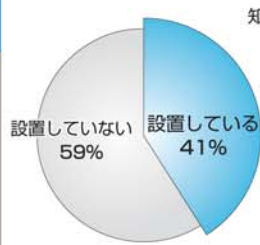
#### 市内の共同購入状況

市内いくつかの地区で、すでに警報器の共同購入を実施しています。

- 峰山町 罫留・五箇・小西・西山・矢田
- 大宮町 口大野
- 網野町 三津・生野内
- 丹後町 平
- 弥栄町 等楽寺・吉沢・木橋・野間
- 久美浜町 浦明・新町・葛野

(消防本部が確認しているもののみ)

家庭に警報器を設置していますか？



警報器の設置が義務になったことを知っていますか？

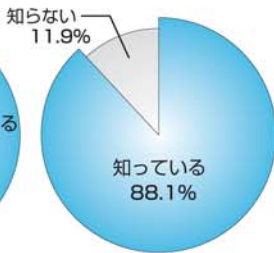


図 市内でのアンケート結果(約1400人が回答)

**市内の普及率は40%程度**

消防庁が全国の警報器の普及状況についてアンケート調査などを行った結果、平成22年6月現在の全国の普及率は、58.4%でした。

本市でも、平成21年にアンケートによる調査を行い、市民約1400人から回答を得ました。その結果、警報器の設置が義務になったことを知っている」と答えた人は88.1%と多かったものの、「実際に設置している」と答えた人は41%で、全国の普及率と比べて大きく下回る結果でした(上図)。

火災が起これば、火や煙は凶器となり人間に襲い掛かってきます。警

住宅用火災警報器の設置方法などのお問い合わせ先  
市消防本部予防課(☎62-5119)  
または、最寄りの消防署にお問い合わせください。

消防本部では、感知の早い「煙式」の設置を義務付けています。



報器を設置して、いざという時に、素早く避難できるようにしましょう。

#### 救急119

「ヒートショック」とは、急激な温度変化が体に及ぼす影響のことです。室温の急激な変化によって、体の中で血圧の急上昇や急降下が起こります。

心臓に負担をかけ、心筋梗塞や脳卒中などを引き起こす可能性があります。高齢者や高血圧のかた、慢性疾患を持ったかたは注意が必要です。



市消防本部救急救命士 野村 和孝

#### お風呂、洗面所、トイレは要注意

家の中でヒートショックを起こしやすいのが浴室・洗面所・トイレです。特に、暖房設備の設置が少ない日本の浴室は、ヒートショックが起こりやすい傾向にあります。

未然に防ぐには、浴室・洗面所・トイレを暖かくし、居室との温度差を少なくすることが大切です。

また、入浴時は湯温を低めに設定し、長湯を避け、入浴前にはお酒を飲まないなど入浴方法にも注意しましょう。

# 消防の広場

## 119

火事・救急・救助

住宅用火災警報器の設置期限まであと

### 172日

(12月10日現在)

※既存住宅への設置期限です



## 設置期限まであと半年 つけましたか？住宅用火災警報器

火災はあなたの大切なものを奪います。設置をお急ぎください。

#### 6割が逃げ遅れで死亡

近年、住宅火災による死者数が急増し、平成15年以降は全国で毎年1000人を超えています。死に至った原因の約6割が「逃げ遅れ」によるものです。

また、死者の半数以上が65歳以上の高齢者となっています。今後、高齢化社会の進展に伴い、さらに増加するおそれがあります。

この現状を改善するため、消防法や市火災予防条例により、「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられています。既存住宅については平成23年5月31日までに警報器を取り付けなければなりません。(新築住宅については平成18年6月からすでに設置義務があります)

#### 死亡率は3分の1に減少

住宅用火災警報器は、火災による熱や煙をいち早く感知し、火災の発生を警報音や音声で知らせてくれるものです。

初期消火や避難が素早く行えるので、火災による被害を最小限に抑えることができます。

住宅火災100件当たりの死者数を比較したデータによると、警報器が設置されている場合、設置されていない場合に比べて死亡率は約3分の1に減少しています。

死亡者は3分の1に減少

住宅用火災警報器は、火災による熱や煙をいち早く感知し、火災の発生を警報音や音声で知らせてくれるものです。

初期消火や避難が素早く行えるので、火災による被害を最小限に抑えることができます。

住宅火災100件当たりの死者数を比較したデータによると、警報器が設置されている場合、設置されていない場合に比べて死亡率は約3分の1に減少しています。

#### 付けてよかった！火災警報器 (事例紹介)

##### 事例1 出火原因

台所で天ぷらを揚げている最中に電話がかかってきて、話している間に油が過熱し発火した。

##### 発見・消火

警報器の警報音に気がき台所に戻ると、鍋から炎が立ち上がった。水に浸したバスタオル数枚とふたで鍋を覆って消火した。

##### 事例2 出火原因

出勤前に喫煙して捨てた吸殻が布団に落下し、長時間くすぶった後出火した。

##### 発見・消火

隣の住人が警報音に気がき、外に出ると白煙が見えたのでただちに119番通報した。

